

H22～H24までに年収は低下傾向だったが、H25から保育士の数と共に増えていっている。これらの理由として保育士への待遇が変化した事が理由となっている。保育士の労働内容、具体的に変化した待遇をいくつか紹介しようと思う。

まず、保育という仕事に対し、『給料が低い』という偏見を持っている人はいないだろうか。これは以前の見方である。少ない職員で多くの行動の予測をし難い子供の命を預かり、保育・教育をする保育士の仕事内容に対しての給料は低かった。一概に保育の仕事だけが大変かというのでは無いが、私たちが調べた結果、かなりの重労働だと感じた。例えば、多くの人が幼稚園・保育園に通った事がある、子供を通わせた事があるという人が殆どであろう。その時に『連絡ノート』という物を貰ったことはないだろうか。児童の体調やその日の行動、連絡などが記載されているノートだ。このノートをクラス一人一人に手書きで書いていた。それだけでも大変だということは容易に想像がつく。それに加え、行事の準備、怪我をしないように常に全員に目を配ったり。これらの労働が続くのだ。

こうした問題を解消しようと国及び各地域で対策が取られた。例えば後述する『連絡ノート』について、全国でデジタル化が実装され、以前と比べて負担が軽減された。また、図にある給料の増加だが、年々上がっている事に加えて経験年数によって給料が加算されていく制度も取り入れてられている。

他にも自治体によって異なるが宿舍借り上げ支援事業という制度もある。

これらが保育士に対して変化した待遇の一例である。

2-2、保育所の数

「・保育所等利用定員*2は302万人(前年比5万人の増加)

・保育所等を利用する児童の数は274万人(前年比5千人の増加)

・待機児童数は5,634人で前年比6,805人の減少

とされている。(4)」

3、待機児童問題解決するに当たって具体的したこと

3-1、アイコン・ポスター作り

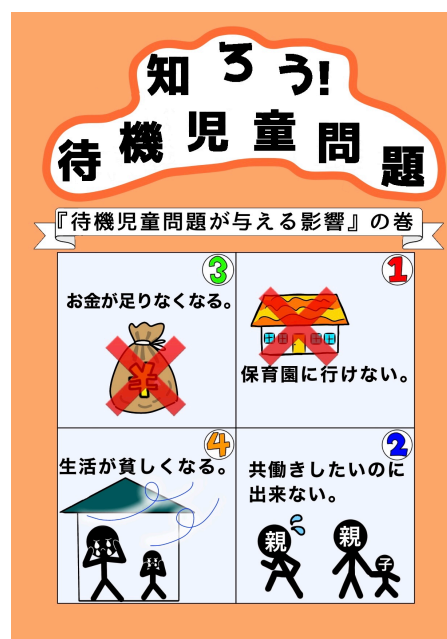
SNSを用いて活動することを考え、SNS用のアイコンを作った。

【SNS用のアイコンイラスト・図2】



簡単に待機児童問題を知ってもらう為にポスターを作った。

【SNSに投稿した待機児童問題ポスター・図3】



3-2、zoom

東京都議会議員の土屋美恵子さん、渋谷信之さんにzoomでお話を聞くことができた。

【議員さんとのzoomの様子・図4】



この会を開いたきっかけは、総合の授業内で10月頃に自身らの取り組みを外部の有識者審査員を招いて発表するの中間報告会で審査員の方に「市長さんに質問してみたら？」とアドバイスをもらったことである。東京都議会議員の渋谷のぶゆきさんは、環境問題の改善、緑地保全の実施、安全と安心の街づくりなどの活動をしている。土屋美恵子さんは、NPO法人子育てひろば全国連絡協議会アドバイザー、女性の生き方等の講師活動などの活動をしている。zoomで学んだ知識は、図5のとおりである

【zoomで学んだこと・図5】

- ・東京都の待機児童の現状
- ・保育士さんへの待遇の変化
- ・待機児童が起こる原因
- ・子供ができる事
- ・待機児童より先、これからの新たな問題・東京都が取り組んでいる子育て支援

話を聞くと、驚くことに東京都の待機児童問題の現状はほぼ解決していた。「2021年4月1日の待機児童数は、5,634人という3年連続で最少の人数とされている。(5)」

私達は古い情報をネットで見っていた為か、ネットの情報との違いに驚いた。問題は解決していたが、新たな問題があった。それは、現在、少子化が進んでいき保育園が余ってきていたり、保育士達の働く場所が減ってきていること、余った保育園の管理が難しいことである。さらに、保育園・幼稚園を卒園した児童を預ける学童の設置が整っていない「学童問題」に問題は移っていた。学童問題とは、共働き家庭などの小学生が放課後を過ごす「放課後児童クラブ」を利用したくても出来ないという問題である。「利用出来なかった児童数は、15,995人【前年比2,266人減】（令和元年：18,261人）とされている。(6)」

保育園に入園できない児童数より大きな数であった。

待機児童数が減ってきているが私達に出来ることはあるのか質問してみると、小さな子どもがいる親御さんが安心できる情報を発信することだと教えて頂いた。

3-3、Instagram

待機児童問題を詳しくまとめ、子供から大人まで分かりやすいように図のようにイラストや資料を使ってまとめたものをInstagramに投稿をした。

【Instagramに投稿した資料とオリジナルキャラクター・図6】



より多くの人に知ってもらうために、フォローを増やそうと積極的に保育関係の人をフォローしたり、ハッシュタグをつけたりという様な工夫をした。その甲斐もあって、40人にフォローしてもらうことが出来た。さらに、現役の保育士からフォローして貰うことができた。

初めは、インターネットからの情報を頼りに投稿をしていた。しかし、その情報に間違いがあると現役保育士からもコメントで教えてもらった。

【現役保育士から貰ったコメント・図7】

現役保育士です。
中学生の方々に待機児童問題を取り上げて頂き、とっても嬉しく思っています！
ありがとうございます。
待機児童問題は地域差もあります。私の働いている市では、実際に0歳児の定員に空きのある園もあります。
ですから、必ずしも0～2歳児に待機児童が多いとも限りません。地域差の視点ももつといいですよ！
また、子どもの数に対する保育士の数ですが、厚生労働省「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」によって国が定めた基準がありますので、調べてみると正確な情報が得られます。
実際に働いていて感じることもたくさんあります。
みなさんの活動にお手伝いできることがあったら言ってくださいね！何か役に立てたら嬉しいです！
頑張ってくださいね！

陰ながら応援しています！
保育園とはどのような福祉施設なのかをしっかりと理解することが鍵ではないでしょうか？
保育内容に関することだったら、保育所保育指針を学んでみてくださいね！
私の園では連絡帳やお手紙はアプリを使っているので、パソコン作業です。時間短縮につながっています。また、保育士にはキャリアアップ制度があり、決められた研修に参加すると、キャリアアップが認められ、お給料も上げてくれるのですよ。保育士への待遇は少しずつ良くなってきていると言えます。しかし、課題はたくさんありますよ！
みなさん、頑張ってください！

コメントでは、昔とは違い連絡帳がデジタル化していると言っていた。その後、間違いを訂正し正しい情報をInstagramに投稿した。

3-4、学校では

そして、外部の有識者審査員を招いて行われた武蔵野市貢献プロジェクトの成果報告会でクラスを代表して発表する機会を与えられた。スライドでは情報を簡潔に載せ自分達の言葉で活動を説明することを意識した。

【学校での発表の様子・図8】



5、終わりに

私達が活動を通して学んだことは、待機児童問題は順調に解決しており、今は学童問題の方が深刻であったことだ。他には、ネットで調べた事だけを信じ、満足するだけでなく、詳しい人や実際に経験した人から直接話を聞いて情報を確かなものにする事の重要性だ。携帯電話が普及し、簡単にネットを使えて、匿名で情報を流せる今、たとえばデタラメな情報だとしても書き方がそれらしければ信じてしまう人もいるだろう。そんなネットが簡単に使える今だからこそ見ただけの情報を鵜呑みにするのでは無く、その情報を見極め、正しい情報を発信することが大事なのではないだろうか。待機児童問題や他の問題でも、正しい情報で色々な人の不安、悩みを解決し、助けることができる社会になれば良いと思う。

6、謝辞

渋谷信之さんと土屋美恵子さんには、活動の進め方の助言や待機児童問題の現状、新たな問題についてなど多くのことを私達に学ばせて頂きました。大変お世話になりました。有難うございました。

7、参考文献

(1) 保育士バンクより

https://www.hoikushibank.com/column/post_1493-2#11

(2) 保育士バンクより

https://www.hoikushibank.com/column/post_1493-2
待機児童ネット
<https://taikijidou.net/sitemap.html>

(3) 首相官邸より

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/taikijido/index.html>

(4) 厚生労働省保育所等関連状況取りまとめ(令和3年4月1日)より

<https://www.mhlw.go.jp/content/11922000/000821949.pdf>

(5) 厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/content/11922000/000840529.pdf>

(6) 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15634.html